

- 第5期計画の基本方針
- 1 高齢者の多様な生きがいづくりの支援
  - 2 高齢者の健康づくりと自立した生活の支援
  - 3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
  - 4 地域における高齢者の支援体制づくり
  - 5 認知症高齢者に対する支援の充実
  - 6 介護予防の充実
  - 7 予防給付及び介護給付サービスの充実

高齢者を巡る最近の動き

雇用分野

- ・高齢者の雇用・就労
- ・生涯通じた能力の発揮

健康、介護、医療分野

- ・健康づくり、
- ・介護サービスの充実、
- ・医療制度改革、
- ・地域の支えあい
- ・地域包括ケアシステムの推進
- ・認知症対策、介護予防

社会参加分野

- ・高齢者社会参加
- ・学習活動の促進

生活環境分野

- ・安定した住生活の確保
- ・ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり
- ・交通安全・犯罪被害・災害対策

全世代が参画型超高齢社会の基盤づくり

- ・若年者雇用対策
- ・世代間交流
- ・子ども・子育て支援策の推進

- キーワード
- ・社会参加、生涯学習、
  - ・雇用、労働、能力の発揮
  - ・健康づくり、地域の支えあい、
  - ・住環境の整備、交通安全・防犯対策、災害対策
  - ・ユニバーサルデザイン
  - ・地域包括ケアシステム
  - ・介護保険サービス
  - ・若年期からの備え

「豊かな長寿社会に向けたまちづくり有識者会議」における茅ヶ崎市が今後取り組んでいくべき方向のあり方

意向調査から見える一般高齢者のニーズ

健康への意識の分野

- ・「健康状態がよい」という高齢者は食事や栄養に気をつけ、運動を意識的に行き、規則正しい生活をおくり、睡眠休養をとり、趣味を持ったり、人と触れ合うことをしている。一方、介護予防事業への参加の意識は高い人がいる。(問5、6、10)
- ・認知症を疑う高齢者が、要介護認定を受けていない人であっても、推計として700人以上いると考えられる。(問9)

支えあい・助け合いの分野

- ・まず、地域で考えるという意識(問20)
- ・経験を地域で活かしたいという高齢者が38.4%いることへの支援(問21)
- ・高齢者自らが支えることへの意識はあるが(70.5%)が、「ボランティア」への参加意欲となると44.6%が否定的(問22)

日常生活の分野

- ・外出が週1回以下の高齢者は少なからず存在する。推計すると3,004人程度ではないか。(問12)
- ・46.0%の人が健康のこと、36.5%の人が自然災害のことへの不安を持っている。(問13)
- ・安全なまちづくりに関して必要なことは、段差の解消、歩きやすい環境整備が54.1%、防災対策が44.1%、救急医療体制についてが35.4%、防犯についてが31.1%となっている。(問14)
- ・相談相手がない人は、7.2%で、推計すると3,433人程度ではないか。また、相談相手がいる人も、その半数程度が配偶者や親族、家族であり、友人としたものは38.2%である。(問15)
- ・趣味やレクリエーション活動への参加していない人の健康状態は、参加している人と比較して「よい」の割合が低い。(問16)

住まいの分野

- ・持ち家に住み続けたい高齢者は80.5%。
- ・しかし、住まいで困っていることがある高齢者のうち18.8%が転居を考えている。推計すると、4,016人程度(問26、28)

防災対策の分野

- ・高齢者の情報入手手段として、防災行政無線の利用が57.2%で最も高い。(問31)(調査実施後、防災ラジオの有償配布が始まっている。)
- ・災害時に手助けしてくれる人がいない高齢者は11.8%、推計すると5,626人程度か。特に1人暮らしでは、その割合が他の世帯と比較して高い。
- ・備えのない高齢者は25.6%。推計すると12,207人程度か。

日常生活の分野

- ・外出が週1回以下の高齢者は、35.9%。推計すると2,410人程度か(問6)
- ・日中1人は36.7%。
- ・不自由に感じることは、買い物、掃除、調理、ごみだし、選択となっている。(問7)
- ・相談相手がないという人が7.6%、推計すると510人程度か。また、相談相手がいる人も、その半数程度が配偶者や親族、家族であり、友人としたものは11.9%である。ケアマネジャーを挙げた高齢者は23.9%。(問8)

就労や能力の活用の分野

- ・働きたい気持ちがあるのに働いていない高齢者は12.1%おり、働く場合重視することは、経験の活用、賃金、勤務時間を挙げるものが約3割半ばである。(問17)
- ・51.0%の高齢者が市の就労支援事業の利用を考えていない。

住まいの分野

- ・住まいで困っていることがある高齢者のうち19.4%が転居を考えている。推計すると725人程度か。(問11)

支えあい・助け合いの分野

- ・まず地域で考えるという意識(問25)
- ・経験を地域で活かしたいと思う高齢者の割合は28.9%(問36)

防災対策の分野

- ・備えのない高齢者が46.1%(問12)
- ・災害時に手助けしてくれる人がいない高齢者は12.3%、推計すると826人程度か。特に1人暮らしでは、その割合が他の世帯と比較して高い。(問13)

介護サービス利用の分野

- ・被介護者の「家族介護で間に合っている」意識と、その介護者が病弱な場合があること(問21、問26-4)
- ・職業介護者の技量への不満解消(問29)
- ・24時間サービスへの期待、21.9%(問30)
- ・特別養護老人ホームへの入所希望(問27)

自由意見の中から、現状に対する不満、建設的な意見を参考に

- 第6期計画の方針のキーワード
- 1 健康づくり
  - 2 社会参加、生涯学習、外出支援、孤立防止、一人暮らし不安解消
  - 3 趣味の活動、レクリエーションへの参加
  - 4 経験・能力の地域への還元、地域の支えあい、ボランティア、就労
  - 5 住環境の整備、交通事故、防犯対策、防災への取り組み
  - 6 ユニバーサルデザイン
  - 7 認知症予防、対策への取り組み
  - 8 介護予防の周知と参加への取り組み
  - 9 地域支援事業を含む介護保険サービスの充実
  - 10 介護サービスの質の向上、介護疲れの解消
  - 11 特別養護老人ホーム、地域密着型サービスの整備
  - 12 廉価な費用で利用できる住まいの整備

- キーワード
- ・健康づくり、維持への意識高揚
  - ・外出支援、不安解消、孤立防止、一人暮らしの不安解消
  - ・趣味活動、レクリエーションへの参加
  - ・経験・能力の地域への還元、ボランティア、支えあい
  - ・地域第一主義
  - ・就労支援
  - ・住環境の整備、交通事故・防犯対策、防災
  - ・認知症予防、対策、
  - ・介護予防についての意識改革
  - ・介護保険サービスの質の向上、介護疲れの解消
  - ・低料金の施設の整備
  - ・集いの場、生きがいづくり